

事業の背景・目的

ヒュウガシケンダは世界で宮崎県小林市、同椎葉村、および熊本県山鹿市にしか生育していない希少種である。宮崎県の生育地ともシカ食害が著しく、小林市では柵が張られ食害から防がれている。山鹿市の生育地においてはシカ食害は発生していないとされたが、近年シカによる食痕が点々と見られるようになってきている。

本事業の目的は、シカ食害が大きくなる前に山鹿市の生育地に食害防止柵を設置することである。さらに、良好な成長を促すために周囲の環境整備を実施する。

事業の内容

以下の三つの事業を行った。

事業① 情報収集事業

熊本県に先駆けてシカ柵で保全されている宮崎県小林市の生育地を視察し、柵設置後の柵内植物の生育状態、設置後に行うべき処置を学んだ。

事業② 保全事業

山鹿市の生育地にシカ柵40.2 mを設置した。右写真は山鹿市のヒュウガシケンダ。

事業③ モニタリング事業

シカ柵の設置が事業期間終盤であったため、詳細なモニタリングはできなかったが、成長を促すための周囲の雑木の剪定を行った。



得られた成果

山鹿市のヒュウガシケンダ生育地において、シカ食害が顕在化する前にシカ柵を設置することができた(右写真)。その後、成長に悪影響を及ぼす雑草や樹木の除去を行った。

今後は宮崎県小林市の生育地で学んだ、柵内の草本や樹木の管理、柵の修繕などの処置を適宜行う。また、処置による個体数や草丈への影響を評価する。同時に、周囲の谷に新たな生育地がないか探索を行う。

